



12月14日(水)河北台校区にある高齢者施設に入居(生活)している方に「水引き細工のストラップ」と美術部が描いた色紙をお贈りしました。

施設で生活している高齢者に「笑顔で元気に過ごしてほしい」そんな思いを込めて作りました。

(有)ワイ・アール・ティーさんに指導をしていただき、制作した「平梅結び」には「固く結ばれた絆・魔除け・運命向上」の意味があるそうです。

有志を代表して「myan」の藏野さん、高田さんが、「おもしろ荘」さんへ訪問し利用者さんにお渡ししました。その他、特別養護老人ホーム「あかしあ荘」さん、グループホーム「たから」さんへお届けしました。

参加者:37名+α (10月12日 ワークショップ)

寄贈施設:おもしろ荘(18人)、たから(27人)、あかしあ荘(85人)

※JRC 委員会で毎年、地域の高齢者(独り住まい)を対象に絵手紙を贈っていましたが、委員会が無くなっても続けていきたい活動のひとつだと思います。



この日から、ストラップは全部で170個作成しました。参加者は自分のストラップも作りました。



利用者の方に手渡することができました。おばあちゃんからは「勉強頑張ってください」と声をかけていただきました。嬉しくて、涙ぐむ姿に「来てよかった」と思いました。「あかしあ荘」さん「たから」さんの方々も本当に喜んでおいでました。

